



# レイカディア大学(草津校)

## サポート隊説明会



平成31年3月15日(金)



The slide features a light gray background with a gradient. In the top-left and bottom-right corners, there are several realistic water droplets of various sizes, rendered with soft shadows and highlights to give them a three-dimensional appearance. The main text is centered in the middle of the slide.

# **1. レイカティア大学の歴史とサポート隊 結成の経緯について**

# レイカティア大学設立から現在まで

**1978:**

滋賀県老人大学校の開校、1年制  
老人クラブ連合会が運営受託  
高齢者に学習の機会を作り、  
地域作りのリーダーを養成

**1979:**

園芸、陶芸、生活科学、文芸の  
4学科、福祉の内容を必修講座へ  
論文審査で、市町村から推薦  
授業料は全額県負担で無料

**1981:**

近江八幡中央公民館から大津へ

**1988:**

米原校開設、4学科

**1993:**

長寿社会福祉センターに移転  
レイカティア大学に改称、草津校

**1994:**

「レイカティア賛歌」制定

**2003:**

滋賀県社会福祉協議会に運営委託  
地域活動体験学習を追加  
授業料年間1.2万円

**2006:**

1泊2日の修学旅行

**2010:**

草津校サポート隊の結成  
県社会福祉協議会との協働前提に、  
大学を継続、授業料年間5万円  
園芸、陶芸、地文、生活科学、  
健康・レクリエーションの5学科

**2011:**

米原校サポート隊の結成

**2012:**

園芸、陶芸、地文、びわこ環境、  
健康づくりの5学科、大学祭創設

**2019:**

草津校・米原校42期生募集

■2009年10月

突然、県が財政難を理由に「**学生募集停止**」「**2011年より休校**」を発表



多くの卒業生の有志と在校生(31・32期生)が協力し、**レイカディア大学の存続運動**を推進



■2010年5月13日

大幅な経費節減と、「**県社会福祉協議会**」と「**卒業生有志の会**」との **“協働”**を条件に**存続が認められる。**





その“協働”を実践するため、  
卒業生有志の会を中心に呼び  
かけ運動を展開し



■2010年10月  
在校生と一体となり、  
「**レイ大草津校サポート隊**」発足



レイカディア大学からの委託を受けて、大学の運営  
や学生募集等を協働して行う組織

## レイカディア大学存続へ

受講料値上げなど  
卒業生提案生かし 県が方針転換



滋賀県の財政難のため本年度で休校が決まっていた、お年寄りが学ぶ「レイカディア大学」について、県は昨日までに、存続させる方針を固めた。卒業生らが収益を増やして支出を減らす計画を県に提案し、存続の道を開いた。卒業生らは喜びの一方で「活動のやり方について話し合っていない」と気を引き締めている。

レイカディア大学は、停止、在校生が卒業生の委託を受けて県社とする01年度での別が運営。60以上の専攻科目と園芸や陶芸などの専門科目。理由が財政難なら県民が必修科目と園芸、増やし、支出を減らすべし。30期卒業生の増山元彦さん（68）は、「30期卒業生は、増山元彦さん（68）の増山元彦さん（68）の増山元彦さん（68）」と話し合っている。

しかし、県は昨年、甲賀市川上町に同校を再建し、休校から継続へと方針を転換させた。

存続方法を話し合った。今後の運営について、検討会の提案も参考にするという。生徒も運営に携わる。仕組を考え、受講料を値上げし、卒業料は減らすアイデアも出ている。卒業生は「経費削減につながることは何でもする」とサポート隊として、ボランティアでかかわる方策を打ち出した。

地域で活躍する卒業生を講師に招く構想もあり、「年寄りをもうい、ということをお願いしたいです」と増山さんは笑う。

県民協が呼びかけた同大の再編検討会の議論を経て3月末に県に計画を提案した。在校生も同窓会も陳情書や署名を提出し、強く存続を求めた。

こうした熱意を受け、県も地域への貢献度も必要性と合わせて再検討し、休校から継続へと方針を転換させた。

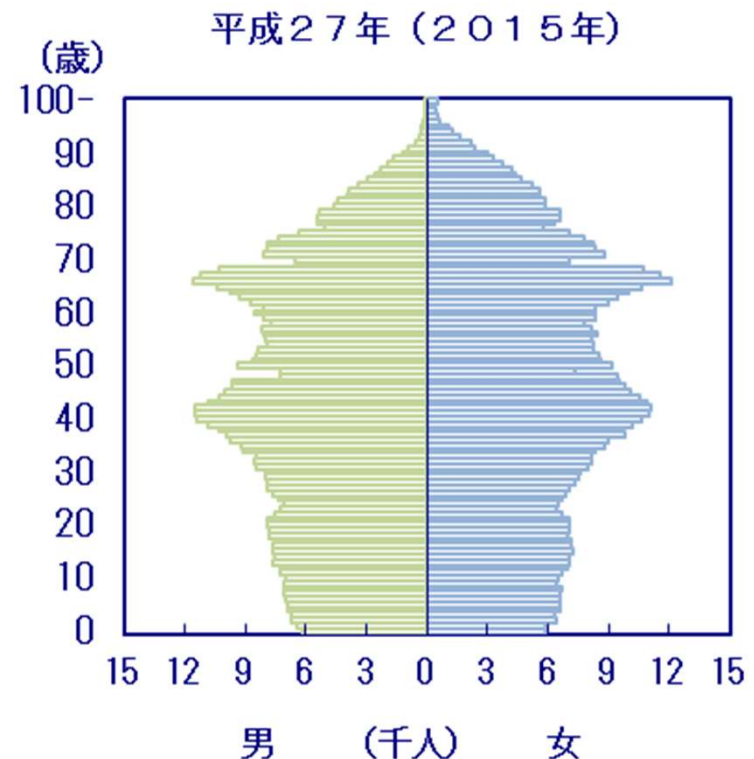
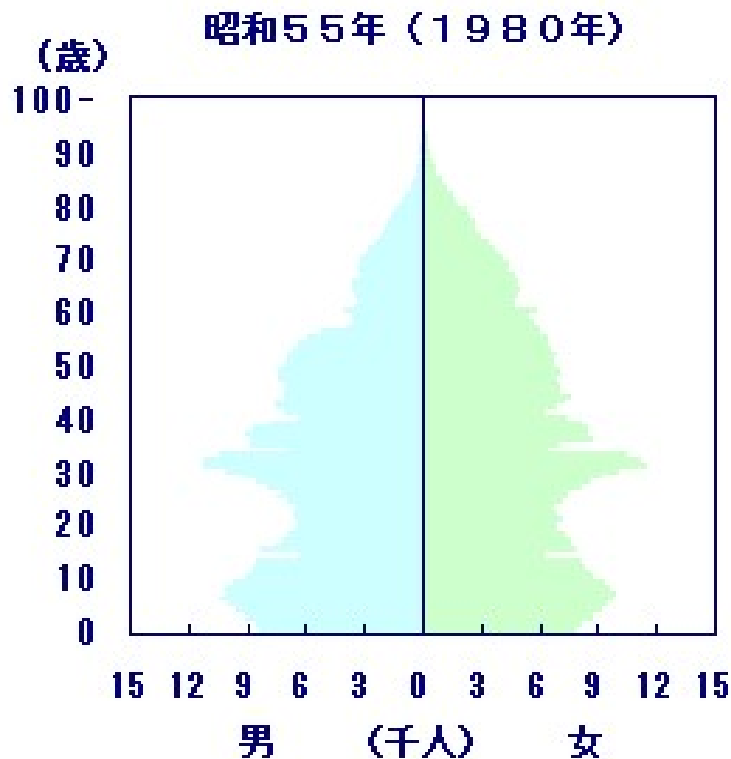
（逸見祐介）

## **2. レイカティア大学の価値について**

# 長寿社会でのシニアの役割

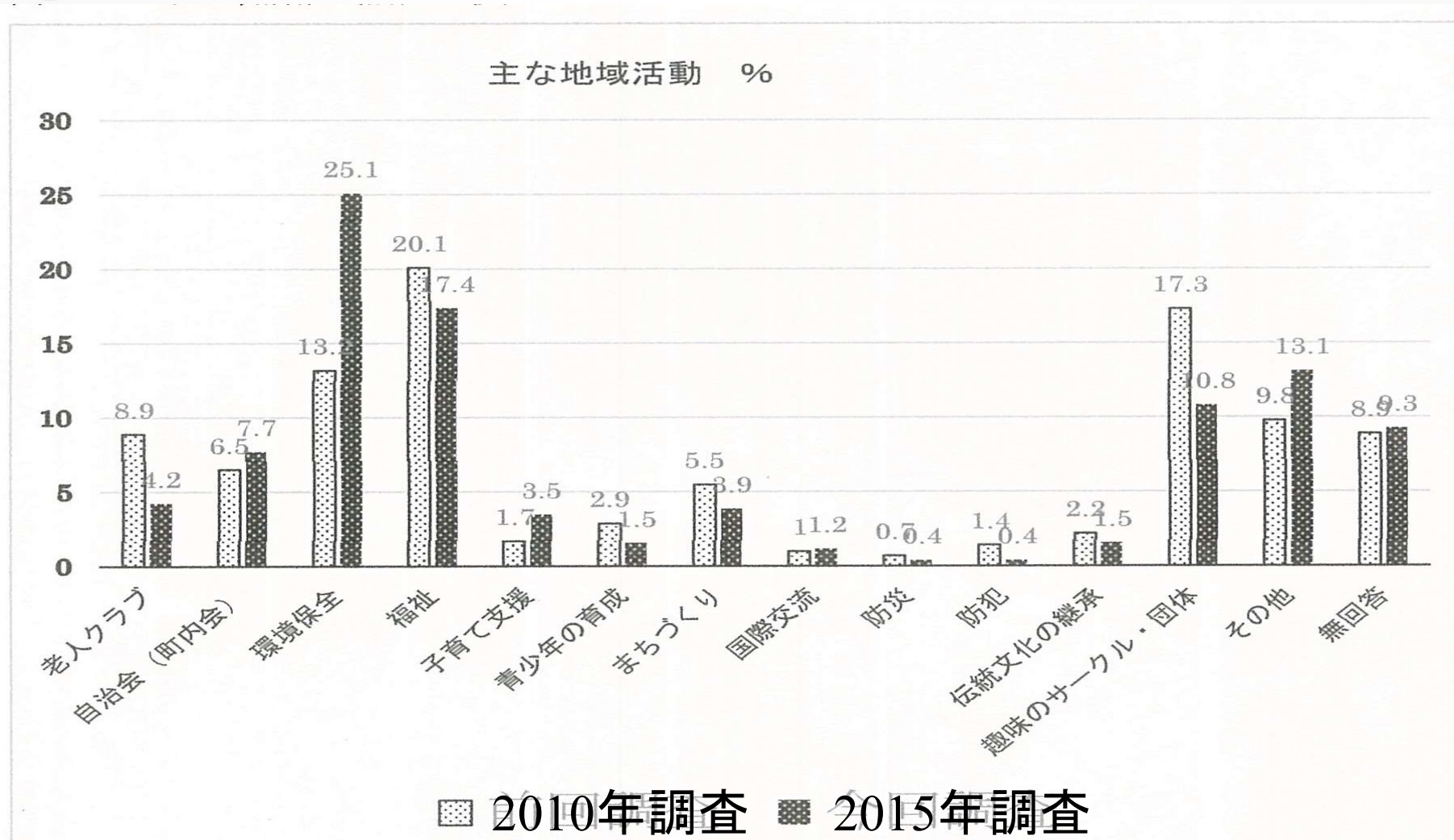
設立当時からの年齢構成と滋賀県民の寿命推移

**1950** ⇒ **1980** ⇒ **2015**  
**60才以上 9.6%**      **14.0%**      **30.3%**  
**寿命(男/女) -**      **15位、33位**      **1位、4位**



# 卒業後の地域活動について

主な地域活動は、環境保全や福祉が趣味のサークルより増えている



### **3. サポート隊の組織と活動について**



# サポート隊とは何ですか？

<レイカティア大学の運営を事務局と協働する卒業生の組織>

レイカティア大学在校生

講師・助手

サポート隊

レイカティア大学事務局

レイカティア大学学長

同窓会

滋賀県

滋賀県社会福祉協議会

# サポート隊の目的 (サポート隊規約)

サポート隊とは高齢者が時代の要請する実践的な新しい知識、教養を身につけ、地域の担い手として登場できるようレイカディア大学に提言し、協働によるレイカディア大学の運営に資することを目的とする。

## サポート内容

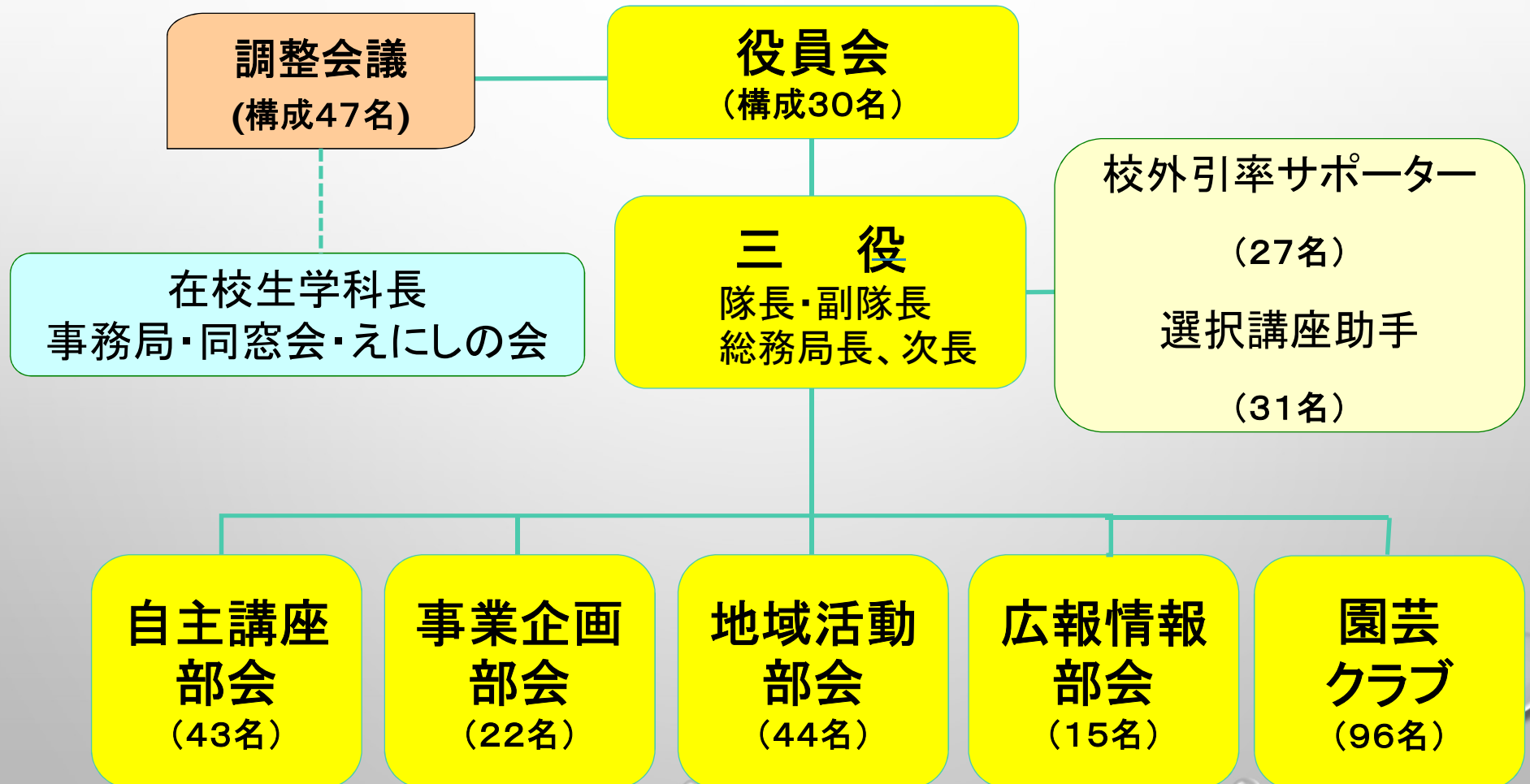
(県社協のサポート隊設置要綱による)  
赤字はサポート隊活動規約に追記

- ① 講師としての指導・補助
- ② 講座等の企画・運営への参画
- ③ 教務事務・業務のサポート
- ④ 地域活動の推進に関するサポート
- ⑤ 大学等の活動に関する情報収集と発信
- ⑥ 学生募集等に関する広報活動
- ⑦ その他、サポート隊目的達成のための必要なサポート
- ⑧ 在校生と卒業生との交流活動の企画実践
- ⑨ 大学祭等イベントのサポート

# サポート隊 組織

## 役員会構成メンバー

三役(隊長、副隊長、総務局長、総務局次長)、各部会長・副部長、各学科代表・副代表



# サポート隊の会議内容(第9期)

## ■役員会議(毎月1回)

- 構成メンバー: 隊長、総務局長(38期)、副隊長、総務局次長(39期)  
各部部长(38期)、副部长(39期)  
各学科代表(38期)、副代表(39期)
- 議題: サポート隊活動の全般

## ■各部会(概ね毎月1回、催事ごとの活動)

- 構成メンバー: 各部部长、副部长、部会員
- 議題: 部会活動、催事

## ■調整会議(毎月1回)

- 構成メンバー: 役員会メンバー  
レイ大事務局・現役学科長(40・41期)・同窓会・えにしの会代表
- 議題: サポート隊の活動報告、情報・意見交流など

その他、組織横断的な課題ごとにプロジェクト会議・委員会などを開催



## 調整会議

大学事務局、同窓会代表、えにし会の代表、在校生代表(各クラス学科長)と サポート隊役員が一堂に集まり、レイ大の充実・発展に向けての情報交流と協議の場としている。



## **4.各部会の活動について**

# サポート隊の部会と関連団体との連携

自主講座部会  
＜パソコン教室・自主交流＞

校外引率サポーター

草津校在校生

事業企画部会  
＜学生募集・大学祭＞

地域活動部会  
＜地域活動調査、ボランティア＞

園芸クラブ  
＜大学周辺整備、実習助手＞

広報情報部会  
＜レイ大だより、HP＞

サポート隊

レイカティア大学事務局

同窓会

えにしの会

# 自主講座部会

## 交流講座の開催(第9期)

2018年12月 ノルディックウォーキング体験講習会 01



写経体験、そば打ち、木工、挿し木、陶芸教室等の交流講座で、在校生を対象に魅力ある講座を開催



# 自主講座部会

## パソコン教室

パソコンの基礎、ワード、エクセル、メールなど

PowerPointで地域活動報告  
をすることができ、良かった。

初めてパソコンに触れました。  
マンツーマンの指導を受けることが  
でき、よく理解できた。  
本当にありがとうございました。



受講者からの感謝の声



シニアがシニアに教える。  
何回聞いても恥ずかしく無いよ。

パソコン教室のおかげで  
教材の電子化配信にも慣  
れ、重宝しています。

やりがいと自らのスキルアップにもつながります。



# 事業企画部会

## 学生募集支援活動



### 地域での説明会



**活動成果が記事や番組となっていく体験が出来、学生の応募実績に貢献出来ます。**

# 事業企画部会

## 大学祭の支援

PR、ステージ発表、イベント等



陶芸作品展示



野菜即売会



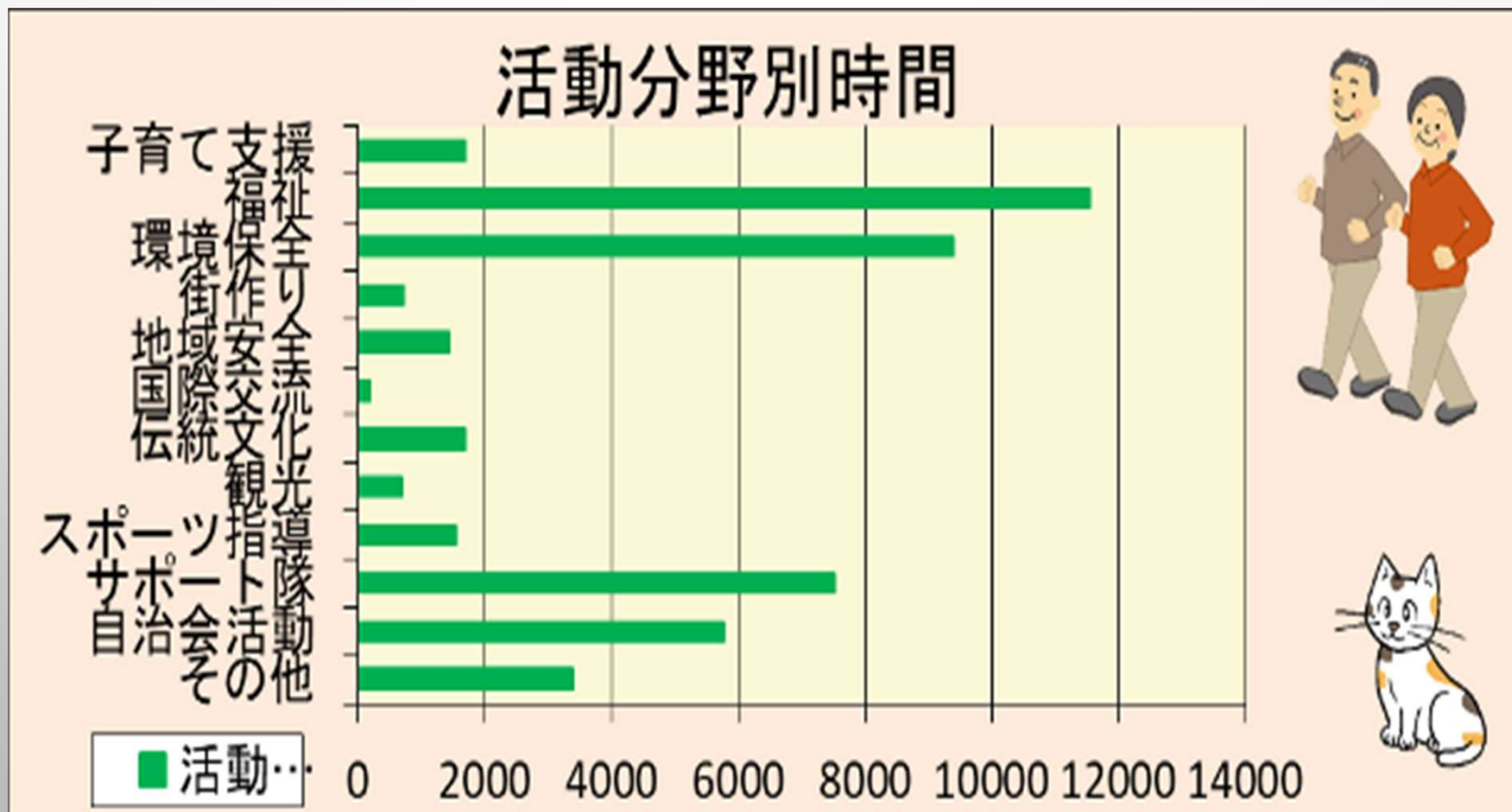
ステージ演芸



# 地域活動部会

## 卒業生の地域活動調査(36, 37, 38期生)

調査の目的：在校生への紹介と県への報告



# 地域活動部会

2018年6月8日に実施

## サポート隊レイカディアの日実施

参加者 約200人

### びわこ地球市民の森の竹伐採とみさき公園バーベキュー

伐採竹の搬出  
で一汗かいて



BBQで楽しく  
交流




自ら企画し運営するやりがいを体験して下さい。



# 広報情報部会

## 「レイカディア大学だより」発行

(3ヶ月ごとに発行)



### シニアの学び舎

レイカディア大学だより

No.31  
2018.11.13

シニアが新しい教育と技術を身につけ、地域の担い手として存続できるような支援をしています

### -41期生入学式 ようこそ学び舎へ-

10月2日(火)、進賢レイカディア大学に第41期生(専攻校130名、米原校47名)を迎えて入学式が行われました。進賢学長から、「本校の校歌に『ともに学び、ともに遊び、ともに生きなす』とあるように、人と人が未来に向かって繋がっていきましょう。また、今年からは履修生を迎えて学び直しが実施され、レイカディア大学はさらに進化してまいります」と式辞がありました。

三日月知事からは「地域活動や大学祭など多くのカリキュラムが素晴らしい学びの場となります。大学での職業や体験活動を通して、地域で活躍する際に、役立つ知識・考え方や、企画運営の方法などを学んでいただきたい」とメッセージが届けられました。

来賓の県老人福祉施設協議会藤井会長からは「是非とも老人ホームには入らないでください」との激励もありました。

健康づくり学科入学の舟井潤子さんは、「いろいろなことにチャレンジしたい。お友達をたくさんつくりたい。まちづくりセンターで百歳体操などに参加しているが、大学でも学びたい」と入学の動機を語ってくれました。なかにはりタイヤ後、暇つぶしに、そして奥さんから家がないのでと連れ出されて、入学した男性もいました。

また父親がこの大学に入学し、楽しい学生生活を送っていたのを聞いて、是非入学したいと思入した方もいました。

それぞれに夢と希望がいっぱいの入学者、指の方々が異口同音に、学長の期待に応えるかのように集がりや学びを求めて、動機を語ってくれたのが印象的でした。

(取材/近松清司)



### -39期生卒業式 新たな仲間と地域のサポートへ-

仲間と2年間愉快に学んだ

まったく見知らずの男女25名が39期園芸Aクラスに集って卒業の船が鳴った。

6日歳から79歳まで、様々な、経歴と性格の持ち主たちが一見バラバラだったが、ドッコイこれがちりちり絆で結ばれた。

園芸を教わるという点に向かい、各人の立場、考え方を受け止めながら協調していく姿勢は見上げたものだった。

特に、各人が色々な役割を担ったことで、その役割を全うしようとする努力に感服の一言。

学長先生の私は入り口を作っただけだった。

卒業後のクラス会を作って卒業式と同時に発足した。クラスのメンバーを誇りに思う。

39期園芸学科A卒業生 西山忠雄

9月13日に米原市の県立文化産業交流館にてレイカディア大学39期生の卒業式が行われました。

米原校39名、草津校115名の卒業生を前に進賢学長からは「各地域に戻って人生100年時代を乗りこえ、素敵な若年青年として活躍してもらいたい」と、また来賓の由布黒瀬町事、川島県議会議長からも期待と励ましの言葉がありました。

びわこ環境学科卒業生の寺澤さんは「在学中は学科の仲間がビデオリレーを完成しましたが、卒業後は再度でびわこにチャレンジします。とにかく仲間が結束できたことが何より嬉しい」と、また第39期健康づくり学科の進賢学長は「勇気を示して入学してよかった。ここへ来なければ一生懸命な卒業後の仲間がいっぱいできました」と、仲間づくりの楽しさを熱く語ってくれました。

(取材/仲谷文夫)



### 大学祭

★生かそう経験・作ろう絆・シニアのか★

8月1日 2日 3日 開催

今年は連日の猛暑日の続く中、レイカディア大学草津校で7回目の大学祭が開催されました。ふれあいイベントの日として、開催のなび8月2日は、先登卒業生、在校生の家族や近隣から過去最高の873名もの来場者があり、大変な賑わいでした。

来場頂いたお客様には、毎回恒例の記念品として、園芸学科卒業生・在校生育成の花苗ポットと、陶芸学科卒業生・在校生作成の陶芸小物が多数用意され、無償配布に大変喜んで頂きました。

入口の玄関ホールでは、園芸学科の2年生が、2年間の学習成果を花の寄せ植えやハンギングバスケットで飾り付けた見事な作品群が展示してきています。

館内いたるところで在校生の学習成果作品が展示され、来場者の質問にも学生さんが丁寧に説明していました。本館2階のイベント会場で子供向けのどんぐりストラップ、よし管作り、苔づくりなどに参加体験できるコーナーも多くあり、一時順番待ちの列ができるほどの盛況でした。また、大教室のステージ演芸では在校生の優れた演技力、卒業生の方々の深えわたる演技で会場は盛り上がりおりました。

最後の演目には江州音韻が披露され、会場の見学者も次々に踊りに参加され大いに盛り上がりおりました。

(取材/中西清一)



第7回大学祭のスタート



素嗜らしい飾り付け!!



挿木、苗をプレゼント、うれしい!!

### 卒業生が活躍している地域活動

**布施の溜池周辺を守る会** 36期地域文化学科 苗村 久男

私の住んでいる町(東近江市布施町)には染置秘抄(平安時代末期の1169年後白河法皇が編者)に記されている「布施の溜池」があります。

昭和の時代までは、農業用水として利用されてきましたが、永源ダムからの送水により溜池としての役目は終わり、とたんに溜池は雑にも見向きもされず荒れ放題となり、ゴミの散乱と雑草が生い茂り見苦しい状況でした。

このような中、平成25年10月レイカディア大学36期地域文化学科に入学し、早速、地域活動の課題報告を求められました。

昔のように美しい溜池をよみがえらせたいと町内の長老や有志に声をかけたところ、子供の頃から遊んだ溜池に関心を持ってもらい、平成26年4月に「布施の溜池周辺を守る会」をメンバー12名で立ち上げました。

守る会の活動は年6-7回清掃作業が主ですが、3年前から中世の城「布施三河守」の跡地があった布施山(溜池に運んでいる)の山道整備にも活動の場を広げています。

また、地元の布引小学校の3年生に総合学習の時間に「布施の溜池の漂流」や「布施」の地名の由来などを話す時間を設けてもらって地元の子供達に地域の歴史に関心を持ってもらう活動も行っています。

これからも地元の溜池や城跡を誇りに、活動の輪を広げていきたいと思います。



### -サポート隊だより-

**第9期 スタートに向けて**

第9期サポート隊は、私たちが学んだ8期サポート隊草津校の全体的なために、次の活動をサポート活動の柱としたいと考えています。

- ① サポート活動の充実
- ② レイカディア大学の知名度を上げるため地域活動でアピールする
- ③ Lシガー活用と工夫とやりがいのある充実した活動を目指す
- ④ 関連部門との連携を深め、米原校・草津校を一体としたレイカディア大学の活動を推進する

またアクティブボランティアとしてさまざまな活動に意欲的に取り組んでいきます。

第9期サポート隊長 西澤幸夫(38期園芸学科A)



発行: 進賢レイカディア大学草津校サポート隊  
編集: 草津校サポート隊広報情報部会  
〒526-0072 進賢県津市山田7丁目B-136  
草津校福祉福祉センター内  
TEL: 077-567-3801 FAX: 077-567-3906  
http://lakadiatv.com/f-support/index.html  
印刷: 6-22 共興印刷



# 広報情報部会

# サポート隊「ホームページ」の運用



取材して記事にし、広報までつなげていく楽しい仕事です。

# 園芸クラブ

## 活動テーマ

- ・園芸学科授業の準備として、花壇及び校内畑の整備
- ・レイカディア大学草津校内及び周辺の緑化、庭園整備 年間10回実施
- ・剪定実習の助手及び園芸学科講義資料の電子化など



# 園芸クラブ

花壇及び校内畑の整備



実習助手



剪定実習の助手



**習得した技術を実践し、先輩との絆を深めてください。**

## 校外学習サポーター

2017年度にスタートし、2018年度は全学科で、校外学習の引率サポーターを実施中。但し、陶芸学科は慣習で助手が対応予定。

学科	前期講座数	実施例
園芸A/B	5	京都府立植物園
健康づくり	1	ウォークラリー体験
地域文化	7	地域学としての彦根学
びわこ環境	4	湖北の野鳥観察
陶芸学科	0(後期1回)	丹波篠山方面



## 校外学習サポーター

2018年12月 湖北野鳥センター（びわこ環境学科）と  
荒神山古墳（地域文化学科）での校外学習会

サポーター各2名で引率し、在校生との交流を楽しむ





## 三役・総務局

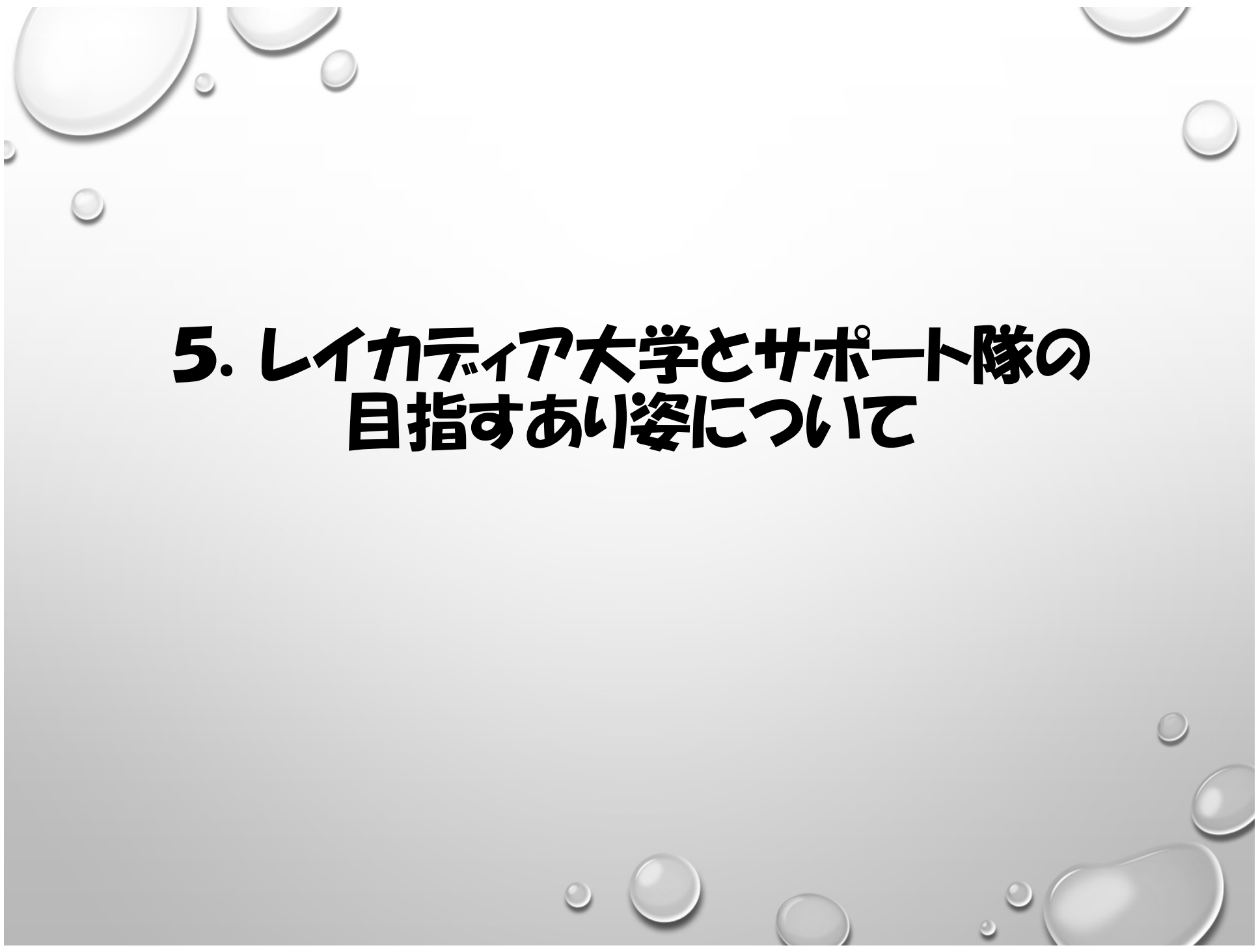
# 学長との懇談会・米原校との交流

12月草津校サポート隊と米原校サポート隊の懇談会開催、情報交換  
1月学長懇談会開催、草津校・米原校サポート隊、同窓会、えにしの会

草津校・米原校合同の懇談会は年2回開催し、活動計画や共通の課題について意見交換して、相互に協力しています。学生募集、ボランティア活動などは協働参加しています。

学長懇談会は不定期に開催し、同窓会などの関連団体とともに、ワンレイカディアを目指した取り組みや、学生募集、事務局運営サポート、課題などを話し合っています。



The slide features a light gray background with a gradient. In the top-left and bottom-right corners, there are several realistic water droplets of various sizes, rendered with soft shadows and highlights to give them a three-dimensional appearance. The text is centered in the upper half of the slide.

## **5. レイカティア大学とサポート隊の 目指すあい姿について**

これまでは、**サポート隊の発足とサポーターの活躍**で、**大学と協働運営して、レイカティア大学が守られて来ました。**

これからは、**レイカティア大学を継続するだけではなく、元気なシニアが楽しく学び、滋養を維持発展していく源になる大学にしていきましょう。**

「**大学がより楽しく学べるところ  
となり、滋賀県にとって価値ある  
大学になるように、皆様の知恵と  
力を貸して下さい**」

**卒業後は是非ともサポート隊に入会  
いただき、皆様の力で、大学の発展  
にご協力をお願いいたします。**

**サポート隊の任期は3年です。**



# レイカディア大学サポート隊の役割

レイカディア大学で学び、絆を広げる  
41年の歩みを大切に

滋賀県民へのレイカディア大学認知活動  
＜メディア、行政、自治体への広報等＞

レイカディア大学事務局との協働活動  
＜大学運営、カリキュラム更新、募集等＞

＜レイカディア大学の魅力を高め、生き生きしたシニアを輩出＞

在校生が楽しく学ぶ環境作り  
＜在校生の声を聴く＞

卒業生が地域やグループで活躍  
＜同窓会・えにしの会との連携＞

社会貢献・地域活動の蓄積と広報

＜地域・社会へのインパクトを発信＞

地域の活性化と生き甲斐創りで滋賀を元気に



レイカディア大学  
— シニアが滋賀を元気にする —

大学から地域社会への広がり

第3ステップ

学ぶ人にとって魅力的で、滋賀にとって大切なシニア大学になっている

在校生・卒業生協働

地域活性

健康作り

生き甲斐



第2ステップ

大学運営への協働  
〈サポート隊、同窓会〉

第1ステップ

シニアに学習の機会作り  
地域作りのリーダー養成

レイ大生

事務局

大学運営への協働

**レイカティア大学の価値を広め、  
楽しく学べる場作りに、皆さんの  
参加とご協力をお願いします**

